

インフルエンザ情報

国立感染症研究所感染症情報センター（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）は、「インフルエンザ流行マップ第 52 週（12 月 24 日～12 月 30 日）平成 25 年 1 月 8 日現在」を平成 25 年 1 月 10 日に公表した。

（コメント）

2012/2013 年シーズンのインフルエンザの定点当たり報告数は 2012 年第 43 週以降増加が続いている。第 52 週の定点当たり報告数は 3.35（患者報告数 16,419）となった。都道府県別では群馬県（15.05）、栃木県（10.72）、佐賀県（10.26）、埼玉県（8.08）、沖縄県（7.79）、岩手県（6.42）、茨城県（6.10）の順となっており、42 都道府県で増加がみられた。

第 52 週は、茨城県においては集計後にデータ修正操作が行われたことにより、その後の地図作成にデータが反映されていない。茨城県を除いた全国の保健所地域で警報レベルを超えているのは 1 箇所（群馬県）、注意報レベルのみを超えている保健所地域は 33 箇所（15 都府県）となった。

2012 年第 36 以降これまでの国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、AH3 亜型（A 香港型）の割合が最も多く検出されている。詳細は感染症情報センターホームページ（<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html#graph>）を参照されたい。

なお、第 48 週～第 52 週までの都道府県別の定点当たり報告数の推移【感染症情報センター発表の「感染症発生動向調査週報」等を基に機構で作成】

※定点とは、発生動向調査の観測用に選ばれた医療機関のことで、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されています。

